

【担当教員名】 遠藤 和男 5学科から推薦された各教員	対象学年 3	対象学科 理学・作業・言語・社会
	開講時期 後期	必修・選択 選択
	単位数 2	時間数 30

【概要】 「全人的医療」という用語も人それぞれ捕らえ方が異なっており、例えば肉体的な疾患だけでなく、心身症への対応を守とする場合もあるし、チーム医療が全人的医療の基本と考える場合がある。そこで本学では、①チーム、②地域、③人間性尊重を3つの大きな柱として、本学独自の「全人的医療」像を構築していきたいと考えている。

【一般目標：G I O】

将来医療の現場で全人的医療に貢献するために、従来の疾患、病院、管理センターの医療の反省を踏まえた上で、チーム、地域性及び人間性を尊重した医療の方法論を修得する。

【行動目標：S B O】

1. 全人的医療の特徴及び重要性を説明できる。
2. 現代医療の様々な問題点を説明できる。
3. 疾患中心の医療と全人的医療との違いを指摘できる。
4. 病院から地域へと移行する場合の利点と欠点を説明できる。
5. チームの一員であるという自覚を持ってグループ討議に参加する。
6. チーム医療における自己の専門職種の役割を模倣する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題／担当教員
1	全人的医療とは	1	講義／遠藤
2	現代医療の問題点	2, 3	小グループ討議／遠藤
3	地域医療の理念	3, 4	講義／外来講師
4	地域医療と専門性	3-5	小グループ討議／遠藤
5	理学療法士の役割	5, 6	方法未定／理学療法学科教員
6	事例検討 1	5, 6	小グループ討議／遠藤
7	作業療法士の役割	5, 6	方法未定／作業療法学科教員
8	事例検討 2	5, 6	小グループ討議／遠藤
9	言語聴覚士の役割	5, 6	方法未定／言語聴覚学科教員
10	ロールプレイ 1	3, 5	討議から全体発表／遠藤
11	管理栄養士の役割	5, 6	方法未定／健康栄養学科教員
12	ロールプレイ 2	3, 5	討議から全体発表／遠藤
13	社会福祉士の役割	5, 6	方法未定／社会福祉学科教員
14	これからの医療体制	1-6	小グループ討議／遠藤

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	チーム医療論	鷹野和美編著	医歯薬出版	2002、¥2,000＋税
参考書	バリエーション療法－全人的医療入門	池見西次郎監修、永田勝太郎編	医歯薬出版	1995、¥4,369＋税
	ケースメソッドによる公衆衛生教育	矢野栄二ら編	南江堂	2000、¥2,500＋税
その他の資料	遠藤の担当の場合、参考書の事例についてレジュメを配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 普段から出席と観察記録をつけている。</li> <li>2. 最終回にレポートを提出させる予定である。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小グループ討議を中心にしたので、余り希望者が多いと開講できない。</li> <li>2. 1年次に「医療福祉チームワーク論」を履修しなかった者を優先する。</li> </ol>